

KTK ひゅうまん 京都

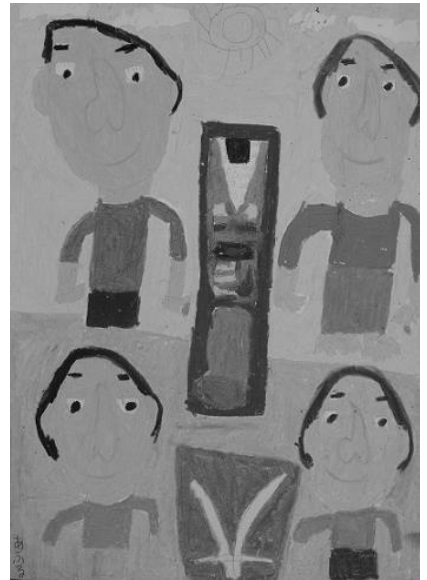
No 509 2019年4月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 私が本当に望む生活とは… 大西理江
- P 4 車いす視点から社会を斬る 75 矢吹文敏
- P 5 聴覚障害者は訴える 24 篠田あゆみ
- P 6 能楽に見える中世の障害者について(試論) 民谷 渉
- P 7 2+2=詩 赤富士文兼
- P 8 尊厳ある暮らしの保障 中野 加奈子
- P 9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 50 すぎな
- P 10 視覚障害者のサークルめぐり 88 一谷 孝
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 ありがとうございます・催し案内

左大文字

なんでかな。こんはずじゃなかったのに。これでいいのかな。誰にもこんな思いに駆られたことがあるに違いない。将来のこと、仕事のこと、健康のこと、家族のこと、政治のこと。思うことは多種多様でも、その都度それぞれに省察する。これでいいのか▲あれこれ決めることが出来ないことを優柔不断という。レストランのメニューを見ながら、あれにしようかこれにしようかとなかなか決めきれないとか、短所として蔑まれる。でも、これでいいのか、どの思いはこれとは少し違うようだ▲物事を判断する主体が私自身である場合と、私一人の思いでは如何ともし難く他者や環境とのコミュニケーションの中で決まってしまう場合、との違いだ▲進学の時、就活や婚活の時、そしてその他いろんな場面で採否の交渉に直面する。入学すれば友人や恩師との、職場に入れば同僚、上司や得意先との、家族を作れば妻や子ども、互いの親族との交流や交渉が生まれる。政治では政敵との厳しい論争もある。学問でもそうだ。それぞれの利害関係者とのミッシェン共有することから喜怒哀楽も頻発する。そして、その都度、これでいいのか、こんなはずではなかったのに、と悩ましい煩悶が始まる。何一つとして私一人だけで判断し決め切る場面などあり得ないからだ▲だから、なんでこうなったんだろう、と省察する。この省察から新しい気付きが生まれ、他者や環境とのコミュニケーション(対話も広がり、さらに深まっていく。そうありたい、と思う。井上吉郎著の『もう一つの明治維新150年』の冊子は1冊1000円(消費税込みで108円)、5冊以上(回りの人に薦めて欲しい)で注文してほしい。送付料(振込料も)は当方負担。 つどめ



「ぼくの夢・ファミリー」
渡辺あふる

常任委員会から

〈新連載始まる〉

大西さんは、家族の介護を一手に引き受け、がんばるカッコいい女性です。私がすごいと思うのは、忙しい中でもマラソンや友達との楽しい時間も大切にしながら、介護のある暮らしをしていることです。しかし、制度のはざままで弱いものが犠牲になる社会の仕組みに黙っていないのも大西さんのすごさです。医療と福祉のはざまで、障害が重度化する中で、施設にいられなくなつたパートナーの行き先を探すとき、医療の矛盾にも気づきます。大西さんの話から、私たちができること、一緒に考えることを探りたいと思います。連載します。乞う期待。

〈ありがとう〉

〈ごめんなさい〉

3月31日は矢吹文敏さんの本紙連載をもとにした出版記念講演会と祝賀会を開催しました。矢吹さんの話をじっくり聞き、矢吹さんつながりの人達と出版を祝い、楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。去りがたい気持ちを残しながらのお開きでした。ご参加いただいたみなさん、矢吹さんありがとうございました。連載はまだ続きます。

その連載のことですが、編集部の大失態をまずお詫びします。2月と3月号に同じ原稿を掲載してしまいました。それに気づいてくださったのは、毎号音読をして声のひゆうまん京都を届けてくださっている方、さ

すがです。編集長は腰を低くして、頭を下げてお詫びをします。今後このようなことがないように、誠心誠意努力していきたいと思ひます。

〈障全協の総会〉

毎年4月の第1日曜日に障全協総会は開催されます。今年は一斉地方選挙前半の投票日と重なっていましたが、全国から70名の参加がありました。なんと

〈5月1日はメーデー〉

10連休で、喜んでる人、困っている人、様々ですが、5月1日は祝日です。メーデーの日です。10時30分に社会福祉会館前に集合です。世の中は騒いでいますが、私たちは、晴れた五月の青空のもと、都大路を歩きます。皆さんのご参加をお待ちしています。デモは市役所まで

池添素(京障連事務局長)

私が本当に望む生活とは・・

2018年8月29日、京都社会保障推進協議会はラポール京都で「私たちが望む地域（共生）社会を考えるフォーラム」を開催して、障害福祉施設や介護施設、依存症リハビリ施設、弁護士、学者、当事者の家族などさまざまな角度から、「共生社会」とは何か、政府の進めようとしている「共生社会」で本当にみんなが幸せになれるのかを考えました。この集会における大西理江さんの発言です。（文責・編集部）

① 突然に迫られた退所

私の家族は重度障害者です。以下は、私が経験したことです。

これまで入所していた施設の主任さんから「分かってください。職員の命も守らないといけないのです」と主人の退所を迫られました。昨年末、緊急入院し、人工呼吸器を装着して2カ月半が経つてようやく人工呼吸器が外れ、退院にむけての話合いの時の発言です。入院時、人工呼吸器が外れたら早く園に戻って来て下さいと、励ましてくださっていた主任さんが、退院近くになって、何故？施設に戻ること拒まれるのか？さらに、「ここは生活施設なんです」

「今の園の状況では、ご主人の命の保障をお約束出来ないのです」と。施設の中で、吸引、吸入、酸素流量と医療行為の多い寝たきりの主人を、これ以上責

任を持って看られないと訴えておられるのです。大変なことは十分理解しているのですが、たった数カ月で突然職員さんの態度が変わることに私は戸惑いながら、今まで通り施設での生活をお願いしますが、話し合いは平行線でした。

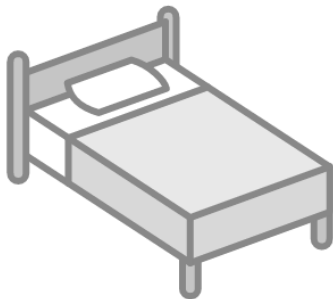
入院3カ月目になって、退院後の生活をどうするのか？私は、主人が施設での生活が安心出来るかと伝えると、園長さんが「では、一度他の病院に行ってみたら、良くなって園に戻って来て下さい」と言われ、この言葉に私は驚きました。一度、園との契約を解除すると入所することは難しいこと、それよりも、14年間もお世話になり、どれだけ病状が進行しているのかを見て下さったはずなのに・・

進行性の病気とご存じで言われしているのか？施設では看られないとの主張なのか？これ以上、施設での生活を望むことは無理

なことなのかなど疑問が膨らみます。「初めての病院は、初めての方ばかりなので、体の不自由な方の不安はとても大きく、病状が悪化する可能性もあります」「慣れたところ、慣れた人たちが一番安心すると思います」と続けて話をしました。すると、「ここは生活施設で夜間医療従事者が不在なので安心して過ごせるとは思えないのです」と主任さんが話されました。

② に続く

大西理江



車いす視点から社会を斬る!

矢吹 文敏 (日本自立生活センター)

そう言えば、平和なのかも?

☆

単なものではないらしい。

よくよく聞いてみると、この

別に大騒ぎする必要はないと思いつつ、日常的に財布の中に入りに入る「お札」の絵柄が大きく変わるといふ。

突然のニュースだったので、私だけが知らなかったのか、いつごろから噂されていた出来事だったのか。はたまた、改元ブームにあやかっていたタイミングを狙ったの内閣支持率を高めるための小手先なのか。

などと、少しばかり不自然な感じを受けたので、何となく興味を持った。

またもや思い付きの政治家が人気取りのために考えたものか、自分たちの疑惑隠しのためか、考え付いたものか、とも思っただのだが、どうやらそれほど簡

まり、日本の紙幣は時代の文化的指標でもあり、ある意味で平和の証でもあるのだ。」と語っていた。

その時には何気なく聞いていたし、深くも考えていなかったのだが、確かに昔の紙幣には軍人の肖像画も使われていたような記憶もあるが、今に思えば、

その評論家の話は意外と真実味のあるものではないかと思うようになった。

もちろん、私個人の意識の変化を基準にするわけにはいかないが、今回の「新元号」にまつわる加熱な報道が、首相の苗字が使われるのではないかと言うような面白半分の邪推にまで発展する例は少なくない。

これは、一パーセントにも満たないネット社会の「デマ情報(フェイクニュース)による炎上」が、意味もなく急速に社会全体を駆け巡る危険性が充分にあるということだ。

関東大震災の時に「朝鮮人が川に毒を流した。集団で襲ってくる。」というデマ報道によって大勢の在日朝鮮人を日本人が殺戮した、という事件はあまりに有名だが、今日的にも意図的なものも含めたデマ情報や情報操作が日常的にあふれているといふ。

それどころか、フェイクニュースを商業的に作り出し(ローマ法王がトランプ大統領の発言を容認した、という情報など)、広告料で稼いでいる国すらあると言ふのだから驚く。

一年に一回、4月1日を「嘘をついても良い日(エイプリル fool)」と定めて楽しんだのは今は昔なのか。毎日が嘘で溢れているということになる。

☆

今日的な障害者への差別が「実はあれは嘘だったんだよ」と言ってもらえる日が早く来てほしいものである。

聴覚障害者は訴える

旧優生保護法に係る強制不妊手術等被害を受けたろうあ者、またはその家族、「もしかして私も・・・?」「私たちも苦しんでいる」「聞いてほしい」・・・。私たちは、そういう人に寄り添いたいと思っております。どんなことでも構いません。私たちは、怒りと悲しみを一緒にしたいと願っています。ご連絡ください。そのためのお問合せ・ご相談窓口を設置いたします。

☆

活動の目的は、聴覚障害者の強制不妊手術等問題に関する被害の背景、歴史を学ぶとともに被害当事者への救済、提訴へ支援、人権尊厳と未来につながる運動をすることです。私たちは、

全日本ろうあ連盟の以下の方針に基づいて活動します。

全日本ろうあ連盟の方針

- ① 一刻も早い国の謝罪と補償等で、被害者の権利や尊厳の回復を求める
- ② 教育や福祉、就労に対する支援等の社会資源の整備強化を
- ③ 手話言語による情報・コミュニケーション保障の必要性を積極的に社会に発信し、改善へ
- ④ 被害者や裁判の原告を支援できる体制を築こう

〈実態調査の方法〉

ご相談を受付し、内容により事実を明らかにするためにさらに実態調査を行う必要があり、京都府内において、聴覚言語障害者の権利を守り暮らしを支援している事業団体である京都聴覚言語障害者福祉協会に協力を依頼しています。日頃から、聴覚障害者の相談支援に携わっている職員に調査員として任命し、調査を実施します。

何か心配なことや気になることなどご相談、お問合せがありましたら、下記までご遠慮なくFAX（ファックス）やメールをください。

または、（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会が運営する聴覚言語障害センターや地域活動支援センター等に相談員がおりますのでそこでも相談することができます。

篠田あゆみ

（京都府聴覚障害者協会）

社団法人京都府聴覚障害者協会（担当：福祉労働対策部 篠田）

F A X : 075 (841) 8433

電話 : 075 (432) 7705

メールアドレス : info@deaf-kyoto.or.jp

能楽に見える中世の障害者に

ついて(試論)

民谷 渉(弁護士)

能という芸術は、中世に、様々

さて、障害者が登場する能と

な芸術を総合して大成したもの

言えば、まずは「蟬丸」でしよ

とされています。特に、観阿弥

うか。歌人として有名な蟬丸が

と世阿弥の親子が、中心的な役

登場する曲です。平安時代前期、

割を果たしたのですが、その活

おおよそ10世紀初頭を舞台に

躍した時代は室町時代初期の1

した曲です。蟬丸は、天皇の子

400年前後です。そこから6

どもとして生まれますが、曲の

00年ほど、能はほとんど形を

冒頭で、全盲の障害者であるこ

変えずに、現代まで存続してい

とから、逢坂山に捨てられてし

ます。微妙な変化はあるのです

まいます。ところで、この曲

が、その時代に、世阿弥が書い

の主役(シテ)は蟬丸ではなく、

た謡本(能のテキスト)を見て

架空の人物である、逆髪という

も、驚くほど、現在のものと変

蟬丸の姉です。この人は、髪が

わりがありません(統計を取っ

逆さに生えていることから狂乱

たわけではありませんが、一言

してしまい、皇族の立場を捨て

一句同じところが多く、8割か

て、諸国を放浪するようになり

ら9割ほどは同じです)。そこ

ます。今で言えば、精神障害者

で、謡本を見ることで、中世の

というものになりましようか。

障害者像を垣間見ることができ

もつとも、能には「狂う」とい

るのでは、と思うわけです。

う概念がよく出てくるものの、

必ずしも現代の意味とは一致し
ないようですので、もう少し研
究が必要かと思えます。この二
人の皇子が邂逅を果たすもの
の、世のはかなさ、哀れさを悲
しんで、また二人は分かれてし
まう、という場面で曲が終わり
ます。この曲で分かるのは、た
とえ皇族であっても、障害者に
生まれてしまふと、他の皇族と
同じ生活を続けることはできな
い、ということなのです。

また、他に有名なのは、「弱法
師」です。この曲は、地元の有
力者の息子・俊徳丸が、虚言に
よって父親から追放されてしま
い、盲目となって、また放浪者
となつてしまった、という曲で
す。その後、反省した父親が、
四天王寺にて施行(ほどこしで
徳を積むこと)をしているとこ
ろに、偶然息子が現れ、親子が
再会する、という内容です。さ
らに、仏教的な話や、全盲とな
ったが故の心の光と闇が表現さ
れるなど、非常に趣深いもので
すが、そこはさて置いて、とも
興味深いものです。四天王寺と言
えば、聖徳太子の施行が有名です
が、その後何百年経つても、障害
者が集うところとなつていたの
でしょうか。

ちなみに、狂言は、能とほぼセ
ットで発展した芸能ですが、こち
らにも、「三人片輪」や「月見座頭」
といった曲で、障害者が出てきま
す。前者は、差別用語云々の問題
があることはさておき、徳のある
亭主が、積極的に障害者雇用を考
えたところから話が始まりますの
で、こちらも、興味深いところで
す。

当時の説話集などに見える視覚
障害者の例を見ると、どうやら、
生来の障害者と中途障害者とで、
周囲の対応も異なるようです。ま
た、登場するのは身体障害者が中
心で、精神障害や知的障害のある
人は、あまり出てきません。この
あたりは、今後の検討課題にしま

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

別刷り

2
+
2
||
詩

尊厳ある暮らしの保障

―生活保護制度のイロハと明日

中野加奈子（大谷大学准教授）

（4）生活保護制度に対する

誤解

という方向に議論が変化していきましました。

前回説明した生活保護基準の引き下げ問題を後押ししたのは、生活保護に対する誤解や、そうした誤解に基づくバッシング

の母親が生活保護を利用してたことに対し、国会議員が自身のブログでAさんの実名を取り上げ「母親の生活保護利用は不正受給である」と糾弾したので

生活保護基準は妥当か検証されることになりました。当初は「生活保護基準を引き上げる必要がある」という議論が展開されて

問題のないものでしたが、週刊誌やテレビなどでの報道はあたかも「不正受給」であるかのよう

な取り上げ方を続けました。野党だった自民党は「生活保護基準を10%引き下げる」という

このような報道の過熱を受け、当時の厚生労働大臣は生活保護

マニフェストを掲げます。そしてその年の年末に自民党は大

標準の引き下げと扶養義務厳格化について検討することを示唆

「生活保護基準を引き下げる」

こうした誤解やバッシングを

しました。そして実際に、2013年から生活保護基準は引き下げられたのです。

「このような報道では生活保護の利用は「悪いこと」という雰囲気になっていました。あたかも不正が生じているような報道や、制度利用をする人たちは「モラルがない」と言うような言葉が飛び交っていたのです。しかし、こうした「声」は今に始まったことではありません。もと

もと貧困問題は、「個人が怠けたのだ」と理解されていた時代が

ありました。また明治時代頃の

困に陥るのはその人が悪いから

だ」「あんな制度を使わなければ

ならない暮らしは恥ずかしい」と

というイメージが根強く社会に

背中を伸ばつてついでついで一緒に歩む

すぎな（訪問看護師）

50オーバーツーリズム

桜満開のこの季節。いつもに増して、観光客の数が多き気がする。

観光都市、京都。なので、お客さんが多いに越したことはないはずなのだが、高齢者や障害のある方、看護の必要な子どもたちのところを走りまわっている私たちにとって、街にあふれるかえる観光客は、「ちょっと、邪魔」な存在でもある。歩道をはみ出して歩く人、道路交通法を無視して車道の真ん中に飛び出してくるレンタル自転車、静かな住宅街に急に出現する民泊。

ある日、Aさん宅に訪問する

☆

肺がんの終末期で一人暮らしのAさん。高齢であつてもしっかり自分の意志を貫く方で、今のところ、長年暮らした我が家

で最後の時を迎えたいと考えて

おられる。長年続けてきた化学療法もついに効果が尽きて、在宅緩和ケアとなられた。Aさんは、最近体力が急に落ちて、出

来ないことが増えてきたことを自覚しだして、少しずつ身の回りの整理を始められた。在宅酸素や医療用麻薬の力を借りて、体調がよい時に押入れの書類を整理し、妹に頼んで銀行の手続きや株式証券の整理をしに行か

れるようになった。ある日、Aさん宅に訪問する

☆

と、ひきつった表情でむつりかきや株式証券の整理をしに行か

された。聴けば、Aさん宅の隣で最近始まった民泊に宿泊した方たちが、夜中の1時から3時の間に浴室を使われ、その音が壁を通してAさんの寝室に丸聞こえで、気になってねられなかつたという。いったん気になり始めると、神経質なたちのAさんには頓服の安定剤を飲んでも効果がなく、結局一睡もせず朝を迎えた、とご立腹であつた。

隣の民泊の管理者に苦情を言うとしても、大阪の業者で連絡が取れないという。Aさん宅は、元々5軒長屋で隣の空いたところに民泊が作られたもので、壁を共有しているため構造的に音が漏れやすい。また路地の中で、ゴロゴロとスーツケースやキャリーバックを引っ張る音も響き

やすい。民泊をするには、地域の住人たちと何らかのルールを作る必要がある地域だと思

う。民泊をすることに住むのは、何かからんとくに住むのは、何

が起きるかわからんのが嫌や。」Aさんの長年勝手知った町内で安心して住み続けたい、という願いが脅かされている。

☆

それにしても、たくさんの方が京都を訪れている。すべてに良いようにはいかないかもしれないが、そこに住む人たちの生活を大事にしないで、外から人を呼びこむだけでは、いずれ誰もいない空っぽの町が出来上がってしまうのではないかと、思うのは、ちょっと極端かしら？



視覚障害者の サークルめぐい(88) クラブ員の思い

歌曲サロンは、毎月第2土曜日の午後、京都ライトハウスの音楽室で活動しています。今年度から船岡クラブハウスから船岡サロンと改名しました。

今回の執筆者は、主婦として家事や育児に専念されていた頃に視覚に障害が現れ、約2年間ライトハウスで生活訓練をされました。その後、積極的に社会参加をされ、多くの仲間との交流をする中で、歌曲サロンに参加し、現在は身につけた曲を存分に楽しんでおられます。

歌曲サロンに参加できる喜び (大久保 和代)

私は学生時代から歌うことが好きでした。テレビやラジオから流れるいろいろなジャンルの音楽を聴き覚え口ずさんでいました。歌うことは生活を明るくし、楽しむことのできる一時で

あったように思います。共に訓練を受けた友達から視覚障害者の方々が中心となり開いている「歌曲クラブ」を紹介していたきました。その際に、「歌曲」とはどのような意味を指すのか調べてみました。すると、「詩の内容を音楽によってより強く表現するために、芸術作品として作曲された歌」ということや、「独唱歌曲を主体とし、斉唱、合唱のものも含まれる」ということが分かりました。私はその内容に惹かれ参加しました。

後半に分けてそれぞれ1曲ずつ順番に独唱します。時代やジャンルに関わらず様々な曲を歌っています。その際には一人ずつ歌うので、自分が歌っているより他の人が歌っているのを聴く時間が長いのですが、「自分が歌うときに歌詞を間違えたり、出てこなかったりしないか」とか「伴奏に合わせられるか」など不安に思うこともあります。しかし、歌い終わるとほっとして他の人たちの歌をゆっくりと楽しめる時間になります。昔から聴きなれた懐かしい曲もあれば、初めて聴く曲もあり、時間を忘れてしまうほどです。メンバーの中には、体調が悪いため自分は歌わないけれど、皆が歌うのを聴きに來られる方もおられます。

サロンでは、会の終わりに来月歌いたい曲を申し出ます。先生に楽譜の準備をいただきたためですが、先生はいつも沢山の楽譜を持ってきてくださるので、当日

の変更もしていただけます。最初は、点字の歌詞カードを手放せず、座ったまま点字を辿りながら歌っていました。今は少しずつ慣れてきて、歌詞を家で暗譜して立って歌えるようになりました。未だに途中で歌詞がでてこないことも度々ありますが、気にせず次の機会に上手く歌えるようにしていこうと思っています。

日本には日本語の美しい歌曲がたくさんあります。私は子どもの頃から童謡や唱歌などを聴き覚えて歌ってきました。それらの歌詞を大人になった今、改めて点字で一字ずつたどって読むと、とても心が癒されて日本語の美しさをひしひしと感じます。

皆の笑顔が溢れ、美しい日本語とメロディが奏でられる「歌曲サロン」に是非一度お越しください。ピアノの生伴奏で皆さんも歌ってみませんか。

知っ得情報

自動車改造費の助成

松本 美津男

自動運転の自動車の開発が進んでおり、これが実現すれば身体障害者でも自由に自動車を利用できるようになるでしょうが、かなり先になりそうです。

現在は自動車改造により手だけで運転できたり、足だけで運転できたりします。

その改造費用の助成制度が各自治体で実施されていますが、その条件や内容は自治体によって異なっています。

ここでは京都市の例を簡単に紹介します。

〈対象者〉

身体障害者手帳所持者で、運転免許証に改造の要件が記載されている人

〈内容〉

身体障害のある人が、就労、通学又は通院に伴い、自ら所有し運転する自動車の操向装置、駆動装置を改造するため必要な費用を助成する。必ず事前に申請する必要がある。（所得制限あり。特別障害者手当の所得制限額と同じ）

〈助成内容〉 改造に要した費用（上限額10万円）

〈問合せ・申請先〉

区役所・支所保健福祉センター健康福祉部障害保健福祉課



61年の歴史が育んだ住民視点
バリアフリー改修も
実績が豊富です

組合ブランド「結の家」(木造住宅)

全京都建設協同組合

〒615-8165 京都市西京区樫原盆山13-1
電話代表 075-382-1021 FAX 075-394-3201
<http://www.zenkyoto.jp>

命の平等をかけた、
無差別平等の医療と
福祉の実現をめざす
働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階
TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017
Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>
e-mail: info@kyoto-min-iren.org

ありがとうございます

■年会費 一谷孝・佐渡和代・廣瀬節子・野口春美・菅波善造・平信行・栗飯原利弘
井上美紀・浅野孝子・蓮佛亨・江村裕之
(敬略 2019/4/14)

■無言、ではられない

日時:4月29日(休、月)正午~13:00 場

所:嵐電白梅町駅前ひろば

内容:わたし、わたし達は主権者。社会と政治に言いたいことが一杯です。スピーチで音楽で署名で、そしてチラシやプラスター、ゼッケンで意思を示しませんか

問合せ:465-5451(無言宣伝)

■第90回全京都統一メーデー

日時:5月1日(休、水)10:00~

場所:京障連は二条城北の社会福祉会館前集合。10:30出発、府庁、日赤、御苑を経て市役所。おおむね12時解散。参加者にジュースを差し入れ。

問合せ:465-4310(京障連)

■5.3 憲法集会 IN 京都

日時:5月3日(休、金)13:30~

場所:円山公園音楽堂

内容:小森陽一さん(九条の会事務局長)の講演など。その後、京都市役所までデモ。
問合せ:050-7500-8550(憲法9条京都の会)

■演劇『平成版アンネの日記』

日時:5月4日(土)~5月6日(月・祝)、
4日14:00/19:00、5日14:00/19:00、
6日13:00

場所:人間座スタジオ(左京区市バス「高木町」下車徒歩約5分)

内容:平成が終わり、新しい元号が幕を開け、怨嗟の音が【女】の囁きとなり京の闇

を包む。かつて、洛中から忽然と姿を消したゲシュタポが、四十四年の沈黙を破り蘇る。その邪悪な目的、野望とは…。祇園小路から木屋町通、先斗町の裏小路へと、刃をかざしたエンジェルが疾風怒濤と駆け巡る。「アンネの日記」が再び衆目に曝されるとき、少女の涙は真実を映し出すのか
入場料:1000円(当日1500円)

問合せ:090-2063-1093(制作)

■講演会

日時:6月2日(日)11:00~12:15

場所:福祉広場1階ホール

内容:講演「この子とともに生きる」大西里江さん(重度障害児の親)

参加自由・無料

問合せ:465-4310(京障連)

■2019年度春季特別展「よみがえる沖縄1935」

日時:~6月29日(土)9:00~16:30

場所:立命館大学国際平和ミュージアム

内容:アジア太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。にぎわう那覇の市場、のどかな軌道馬車、糸満の漁師たちが暮らす一方で忍び寄る戦争の影一。朝日新聞の記者が1935年に撮影し、「海洋ニッポン」という記事に掲載した写真には、貴重な戦前の沖縄の営みが写し取られていました。沖縄戦で一変した沖縄。戦前の沖縄の生活の中にも戦争の影響がひそみ、その後の沖縄と日本全体がたどった道とを合わせて考えることで、1935年以降、現代にもつらなる沖縄をめぐる問題に迫ります

入館料:400円

問合せ:465-8151(立命館大学国際平和ミュージアム)